



Title	圖書寮日本書紀永治二年頃點（本文篇補）
Author(s)	石塚，晴通
Citation	北海道大學文學部紀要， 27(2)， 39-52
Issue Date	1979-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/33435
Type	departmental bulletin paper
File Information	27-44_PR39-52.pdf



圖書寮本日本書紀永治二年頃點（本文篇補）

石
塚
晴
通

圖書寮本日本書紀永治二年頃點（本文篇補）

石 塚 晴 通

○ 訓點に附された聲點

前號本文篇に於ては、本文の漢字に附された聲點は翻刻したのであるが、印刷の都合上訓點に附された聲點を省いたので、以下に抜き出して掲げる。訓點に附された聲點は、片假名に墨或いは朱のゴマ點により附したものが大多數であり、萬葉假名・實字訓に墨の圈發により附したものが少數有る。何れも平聲點或いは上聲點と見做されるもので、去聲點及び平輕點は例を見ない（但し、平輕點の名殘と見られるものを無意識に移點してゐる例は若干有る）。以下行頭の算用數字は各卷の行數、その下の「墨」・「朱」はそれぞれ墨點・朱點なることを示す。

(1) 萬葉假名實字訓に附された聲點

卷第十四

187 墨 御惠合（＝給）て（咲）

卷第十七

116 墨 佐官（錄史）

(2) 片假名に附された聲點

卷第十二

109 墨 ナニモ（汝妹）

卷第十三

5 左 墨 カフロニマシマス（岐嶷）

9 墨 コノカミ□シテヒトラメクミオヤニシタカフ

ミチマシマス（長之仁孝）

13 左 墨 イエス（勿差）

14 左 墨 アマツヒツキシラス（繼業）

17 左 墨 サカシキヒトノツカサナリ（賢聖之職）

25 左 墨 オホムカタラ（萬民）

27 墨 ミ、カラマ^ッニ^リテ（親執）

37 墨 マ[□]ウスコトラ（請）

43 左 墨 ナ[□]カタノオホイラツヒメミコ（名刑大娘皇女）

44 左 墨 ヤツリノシラヒコノミコ（八釣白彦皇子）

44 墨 オホハセワカタケノ（大泊瀬稚武）

55 左 墨 カシコキヒトニマシマサム[□]トイフコトラ

（貴者）

62 左 墨 タカミ[□]クラニノホリ（朕踐祚）

63 左 墨 コトロハ（故）

68 左 墨 ミコハナ（裔）

80 左 墨 アルカタチヲ（消息）

95 墨 ミ、ツカラ（親）

108 墨 ミコトノリシテ（勅）

110 墨 マウキタレラハ (以來)
 119 墨 タ、シキヒトを (忠臣)
 124^左 墨 ツクリテ (構)
 124 墨 トノヲ (殿屋)
 125 墨 ミオモヘリ (適)
 143 墨 イロネ (姊)
 144 墨 オホミヤを (王居)
 145^左 墨 ツクリテ (興造)
 146 墨 ハヘラシム (居)
 164^左 墨 オホシカ (麋鹿)
 164 墨 ホノシコト (焱)
 165 墨 サハク (散)

170 墨 ナカのムラ (長邑)
 175^左 墨 マコトフ (實)
 181^左 墨 ミアハシセムトオホス (念合)
 183^左 朱 タハク (通)
 201^左 墨 ミツキフネ (調船)
 203 墨 ウタマヒノ (樂)
 203 朱 ウツハモノ (器)
 205 墨 モカリ (殯)
 205 墨 トフラヒ (巾)
 205 朱 ツカヒラ (使)
 211 墨 カラメ (禁)
 211 朱 トラヘタマフ (固)

224 墨 アナホヤ（穴穂箭）

232左 朱 ナソコナヒタマヒソ（勿害）

236左 墨 アトヘタマハムトス（欲聘）（「アト」ノミ墨）

244左 朱 アトヘシメムト（欲聘）

245 墨 ネノオミ（根使主）

250左 朱 ラムナメノ（苜菜）

251左 朱 イナヒマウサム（辭命）

256 墨 オヤシヤカラ（同族）

263 朱 ヤツコタニモ（臣）

263 朱 クヒハネテ（刎）

269左 朱 ヒタス（養）

271左 朱 マセマツラレタマヒヌ（殺）

卷第十四

4 墨 イハメリ（満）

4左 墨 タケクマシマス（仇健）

6 墨 アソヒタマフ（遊目）

11左 朱 マヨワケノオホキミ（眉輪王）

13 墨 ミネマセハ（熟睡——「ハ」ハ「ル」ノ誤）

13左 朱 シセマツリ（殺）

38 墨 イムサキ（曾欲）

39 墨 オシハノ（押磐）

39 朱 ユタネツケムトオホセシヲ（付囑）

42左 朱 カヤノ（蚊屋野）

43 朱 シモトハラカヤノ（弱木株）

43 朱 イフクイキ（呼吸氣息）
 49 朱 コイマロヒ（反側）
 54 朱 ハセノ（泊瀬）
 55 朱 アサクラ（朝倉）
 56 墨 モルヤ（室屋）
 80^左 墨 タムク（姪）
 82 墨 サスキノウヘに（假殿上）
 87 朱 カソフ、（展）
 90^左 朱 オホムマソヒ（御者）
 100 墨 牛カヒテ（跪禮）
 103 墨 ウタノミトヘノマサキタ、カメ（菟田御戸部
 眞鋒田高天）

110^脚 墨 コトヒト（特牛）
 117 墨 ワナキ（經）
 125 墨 コトタヘ（故）
 133^左 墨 アキツ（蜻蛉）
 153 墨 オモ、リ、アヤマリテ（失色）
 163^左 墨 ヨコトシ（萬歲）
 173 墨 カワラノ（各羅）
 175 墨 ニリムセマ（主嶋）
 175^左 墨 ネリムセマト（主嶋）
 194 墨 ミセ（示）
 220 墨 御言ノリノフミを（勅書）
 4^左 墨 カエトニエフ、イフニツケテ（託稱候風）

231 墨	コトワリ(義)	258 墨	カカレルハタ ^{アシ} シノ(綴流)
231 墨	タシカナリ(切)	258 ^左 墨	ハナハタ(大)
231 ^左 墨	マタキコ、ロ(節冠)	259 墨	ヤマトノミコトモチノイクサノキミタチニ
234 ^左 墨	ハムヘラサル(不在)	(日本府行軍元帥等)	
234 墨	ヒタカ(日鷹)	260 墨	ヲナシ(小型)
238 墨	イマキの(新)	262 墨	イホリシト、マリヌ(營止)
238 墨	クラツクリヘ(鞍部)	263 墨	ノリコトを(令軍)
243 墨	ミクラキに(位)	265 墨	シタツミチを(地道)
245 墨	ミコ、ロを(心)	265 墨	ニクルマヲ(輕車)
252 墨	ヲトリを(雄者)	265 墨	カクレタルツハモノを(奇兵)
254 墨	ツクソクロサシに(筑足流城)	265 墨	アケホノに(會明)
256 墨	クニ、(地)	266 墨	カチイクサ(步)

266 墨 ムマイクサ (騎)
 269左 墨 モマレナマシ (乗將)
 272左 墨 カムニハに (壇所)
 276 墨 クニアカタノウチに (國郡縣)
 280 墨 クニに (土)
 280 墨 ヨヲ (葉)
 283 墨 サシを (城)
 284 墨 サリ (飛)
 287 墨 御言ノリを (勅)
 287 墨 ミマカリタル (命過)
 291 墨 アヒタスケテ (推轂)
 293左 墨 トクノチを (喙地)

294 墨 アタノイクサノキミ (敵將)
 297 墨 キハメタ、カヒ (力闘)
 302 墨 イケラム (獨全)
 302 墨 ユキテ (赴)
 302 墨 アタノナカに (敵)
 304 墨 ミウセヌ (薨)
 306 墨 コロタチヌ (專用威)
 306左 墨 ソネム (深怨)
 311 墨 イサ、ケキに (小事)
 315左 墨 シツクラムテを (後橘)
 315 墨 オトロキモトカヘリテ (愕然)
 316左 墨 カハナカ (中流)

321^左 朱 コトムク（折衝）

323^左 墨 ハフリノ（葬）

323 墨 ツカヒを（者）

327 墨 カラヤツコの（韓）

327 墨 ムユ（六）

336 墨 ヨロコヒて（賀）

338 墨 モコヨカニシテ（渡畧）

338 墨 アカサマニ（歟）

340 墨 ミタヲノ（馳）

340 墨 カキ（竝）

340 墨 クチヲ（轡）

341^左 墨 コエノヒテキヌケタルチリ（超攄絶於埃塵）

341^左 墨 ハシリサイタツトキカタチ保ルモカニシテウ

セヌ（驅驚迅滅沒）

355 墨 ニケマウケル（逃化）

355 墨 ナノリて（稱名）

357 墨 サカチの（堰手）

357 墨 ヤカタ（屋形）

358 墨 キサミて（鯨）

359 墨 ツカヘノヨホロ（直丁）

360 墨 ウチツミオケル（積）

362 墨 コトワリ（道理）

362 墨 アシクマシマスキミ（惡行之主）

366 墨 ツカハス（出使）

- 371 朱 コロサムトオホス(念將刑)
 388 墨 アヤシ(文石)
 388 墨 アシクサカサマナルワサス(行暴虐)
 395 墨 アテ(質)
 398 墨 スマヒトラシム(相撲)
 401^左 墨 アヒタクミ(同伴巧者)
 411 墨 アヤハトリ(漢織)
 411 墨 クレハトリ(吳織)
 412 墨 スミノエの(住吉)
 417^左 墨 アヘタマハムトシテ(設)
 418 墨 アヒタケヒト(共食)
 422 墨 モロヒトの(衆人)
 24 墨 イサチ(帝立)

- 428 墨 イサチラル(哀泣)
 430^左 墨 ウミノコノヤツツ、キニ(子と孫と八十聯綿)
 431^左 墨 ナクハラシメソ(莫預)
 433 墨 ナカハラハ(一分)
 434^左 墨 ヨサシタマフ(封)
 434 墨 カツキ(負)
 437 墨 ラネノオミ(小根使主)
 438 墨 カソノ(父)
 439 墨 トラヘツ(殺)
 441 墨 アカチ(分散)
 442 墨 ユタニス(委)
 444^左 墨 ミツキ(庸調)

圖書寮本日本書紀永治二年頃點（本文篇補）

- 450 墨 ミケツモノ（御膳）
- 453 墨 ワタクシノカキヘ（私民部）
- 455 墨 アサヒイラツコ（朝日郎）
- 456 墨 マチタ、（カフ）（逆戦）
- 456 墨 アヲハカに（青墓）
- 460 墨 タケハシメ（叱）
- 462 墨 サシカクス（翳）
- 464 左 墨 オフモトマチキミに（侍臣）
- 474 墨 ムマハリナカム（夢生）
蔓
- 475 左 墨 イハレス（不可）
- 478 左 墨 コキシノサシヤフレテ（王城降陷）
- 478 左 墨 コオルク（大后）
- 480 墨 コムナリ（久麻那利）
- 481 墨 スメラミコトノミタマノフユ（頼於天皇）
- 483 割 墨 アロシ（下）
- 485 墨 ツ、カハヒト（管川人）
- 485 墨 ミツノ（瑞）
- 487 墨 トコヨクニに（蓬萊山）
- 489 墨 ミウセヌ（薨）
- 499 墨 トホシ（萬里）
- 500 左 墨 ヨモノヒナマウテキシタカフ（四夷賓服）
- 504 墨 サトリのチカラ（智力）
- 505 墨 ヤマヒシアツシレテ（遷疾彌留）
- 506 左 墨 ミヤコヒナ（朝野）

511 墨 サカシマニ (悖)

卷第十六

511 墨 コノカミオトヒトに (友于)

ナシ

516^左 墨 カキヘ (民部)

卷第十七

516^左 墨 シナ (地)

74 朱 アフミノケナノ (近江毛野)

516^左 墨 マウケノミニアタリテ人ヲメクミオヤニ

195 墨 ヘコホリに (背評)

シタカフミチ (儲君於上嗣仁孝)

卷第廿一

522 朱 スヘラヲサメタマフ (領制)

7 墨 ナミツキの (雙槻)

523 朱 アタナフ (侵)

卷第廿二

524^左 墨 ミトに (水門)

ナシ

531 墨 ウラカケノミトに (浦掛水門)

卷第廿三

卷第十五

107 墨 クラシリに (下風)

ナシ

卷第廿四

圖書寮日本書紀永治二年頃點（本文篇補）

附記

本稿を成すに當り、宮内廳書陵部當局、橋本不美男氏を始めとする各位に多大の御便宜を御取り計らひ戴いたことは前號同様であり、謝意を捧げ奉る。尙、本稿も文部省科學研究費補助金を交附された『日本書紀古訓の研究』の成果の一部である。札幌室谷印刷株式會社には前號に引續き困難を極める組版に御協力戴いたことを記し、謝意を表す。